

# YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。  
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/7/14(月)

## 詩篇 78:1-22

●神様のみわざを後の世代に語り継ぐことはなぜ大切なことなのだろうか。1-8節を読んで考えよう。自分に伝えてくれている人は誰だろう？また、自分が伝えるべき人は誰だろう？

●イスラエルは多くの神様のみわざを経験していたけれど、それを忘れてしまったことが記されている。神様がどのような方であったのかを忘れ、神様に逆らうイスラエルの姿は何を私たちに教えているだろうか。神様を信じることは君の生活や生き方にどのように表されるべきか、考えてみよう。

2025/7/15(火)

## 詩篇 78:23-39

「神にできるのか」というイスラエルの声に応え、神様はマナを与え、鳥の肉をちりのように降らせた。民は自分の欲望を満たすために神様を利用したに過ぎなかったため、神の怒りが燃え上がった。民は神を尋ね求め、立ち返ったけれど、その心や本心は神様に忠実ではなかった(34-37)。

●私たちの内にある自己中心な姿とはどのようなものだろうか。それは神様との関係にどんな影響があるだろうか。  
●罪人の私たちの上にある神様の心はどのようなものだろうか。何のためにイエス様が来られたのかを思い出そう

2025/7/16(水)

## 詩篇 78:40-72

●イスラエルの民は繰り返し神様に逆らってきた。このことは神様の心をどのようにしたと書いているだろうか。

●44-55は出エジプトの出来事が語られている。56節「けれども」と民は神に逆らう。そんな彼らが神の民として牧されるために、神様は誰を選んだと書いてあるかな？

●神様を知っていながら、神様の心を悲しませてしまっていることはないだろうか。私たちの大牧者であるイエス様にへりくだって従おう。また、教会に立てられている牧師や家の教会のリーダーの言うことに素直な心を持って耳を傾けよう。

2025/7/17(木)

## ホセア 1章

●ホセアの時代のイスラエルはどうだったかな？2節

●ゴメルの子二人目の子どもはなんと言われているかな？9節

●この箇所は神様がホセアにゴメルを妻にするように言った箇所だよ。当時イスラエルは神様に背を向けて性的に乱れていたんだ。ゴメルも二人目の子どもはホセアの子どもではないんだ。だけど神様はそのゴメルにも主に立ち返って欲しかったんだ。みんなも神様よりも優先してしまうことはないかな？もしもあつたらその誘惑から守られるように祈ろう！

2025/7/18(金)

## ホセア 2章

分裂王朝時代、北イスラエルの王がアハブが南ユダがヨシャパテ王を戦に誘った時の話。ヨシャパテは預言者に御心を聞くように提案したよ。

●王の周りにいた預言者たちはどんなタイプだったかな？その中でミカヤは違ってたね。彼はどんな人？13-14v

●アハブ王はミカヤのことをどう思っていたかな？8,18v

●僕らが成長し良い人間になるためには「イイね」ばかりじゃなく、聞きたい助言も聞かなきゃいけない。本当にきみを応援してくれる人はそれをしてくれる人だ。そんな苦言をきみはどう聞いているかな？

2025/7/19(土)

## ホセア 3章

神様はホセアに、結婚しても他の男の人と関係を持っている奥さんをもう一度愛して夫婦の関係を取り戻すように言われた。それは、神様から離れているイスラエルを神様がずっと愛しているように…とホセアに語ったんだ。

神様はどんなに神様から離れていても、神様が悲しむことをしても、人々を愛することをやめないし、諦めないでいるお方なんだ。その忍耐強い愛は、私たちにも今注がれているよ。私たちが神様に従えない時、悲しむことをしちゃった時も、もう一度神様のもとに立ち直ることをずっと待っていてくれるんだ。

その愛を感謝して、受け取ろう！  
神様と歩む一日を今日も過ごしていこう！

2025/7/20(日)

## ホセア 4章

神様はイスラエルの民を訴えられました。

「この地には真実もなく、誠実さもなく、神を知ることもないからだ」と、ホセアを通して語られます。この神様のことばを聞いて、私たちの心にはどのような思いがあるのでしょうか。世の中を見ると、真実さも誠実さも無いようなニュースを目にすることがあります。

真実と誠実さをもって導いてくださる神様に、私たちの真実と誠実さは、日々の歩みの中でどのように現されているのでしょうか。  
神様の誠実に応えることが出来る、誠実な歩みとはどのようなものなのでしょうか。  
静まり、思いめぐらせてみよう。